

シンポジウム「人口減少と日本経済－労働・年金・医療制度の行方」の開催について

1. 主 催 日本学術会議経済学委員会人口変動と経済分科会
慶應義塾大学グローバル COE：市場の高質化と市場インフラの総合的設計
3. 後 援 日本経済新聞社
4. 日 時 平成 20 年 9 月 26 日（金） 9：45～17：35
5. 場 所 日本学術会議 講堂（〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34）
6. 次 第

（開催趣旨）

本シンポジウムは、持続的人口減少、その最大の要因である少子化とシングル化、および人口の超高齢化といった人口変動と、その経済・社会への多面的影響について、①人口減少の背景と人口変動の将来展望、②社会保障制度の課題と展望、③労働市場やマクロ経済への影響、の3つの柱を立てて報告と討論を行い、総合的に検討することを目的とする

はじめに：シンポジウムの背景と趣旨 樋口美雄（慶應義塾大学教授、日本学術会議会員）

I. セッション1：人口減少の背景と将来展望（10：00～12：00）

- 1) 「人口減少の背景と要因」津谷典子（慶應義塾大学教授、日本学術会議会員）
- 2) 「人口変動の将来展望」金子隆一（国立社会保障・人口問題研究所人口動向部長）
- 3) 討論：阿藤 誠（早稲田大学教授、日本学術会議連携会員）
- 4) 討論：猪木武徳（国際日本文化研究センター教授、日本学術会議会員）

II. セッション2：社会保障制度の課題と展望（13：00～15：00）

- 1) 「年金制度の課題と展望」高山憲之（一橋大学教授、日本学術会議連携会員）
- 2) 「医療・介護保険制度の課題と展望」岩本康志（東京大学教授、日本学術会議連携会員）
福井唯嗣（京都産業大学教授）
- 3) 討論：翁 百合（日本総合研究所理事、日本学術会議会員）
- 4) 討論：土居丈朗（慶應義塾大学准教授、日本学術会議連携会員）

III. セッション3：労働市場とマクロ経済への影響（15：15～17：15）

- 1) 「技術革新と労働の質への影響」二神孝一（大阪大学教授、日本学術会議連携会員）
- 2) 「家計とマクロ経済への影響」大竹文雄（大阪大学教授、日本学術会議連携会員）
- 3) 討論：樋口美雄（慶應義塾大学教授、日本学術会議会員）
- 4) 討論：廣松 毅（東京大学教授、日本学術会議特任連携会員）

総括と展望：岩井克人（東京大学教授、日本学術会議会員、経済学委員会委員長）

【お問い合わせ先・参加申込方法】

Eメールにて、下記のシンポジウム事務局のアドレスに、

(1) 名前（ふりがな）、(2) 電話番号・FAX 番号、(3) 所属と職位、(4) Eメールアドレスを明記の上申込願います。

●申込先：人口減少と日本経済シンポジウム事務局（担当：朝井）

Eメール：symposium926@gmail.com

*定員（300名）を上回った場合、抽選により参加者を決定し、9月16日頃までに抽選の結果を申込者に通知します。